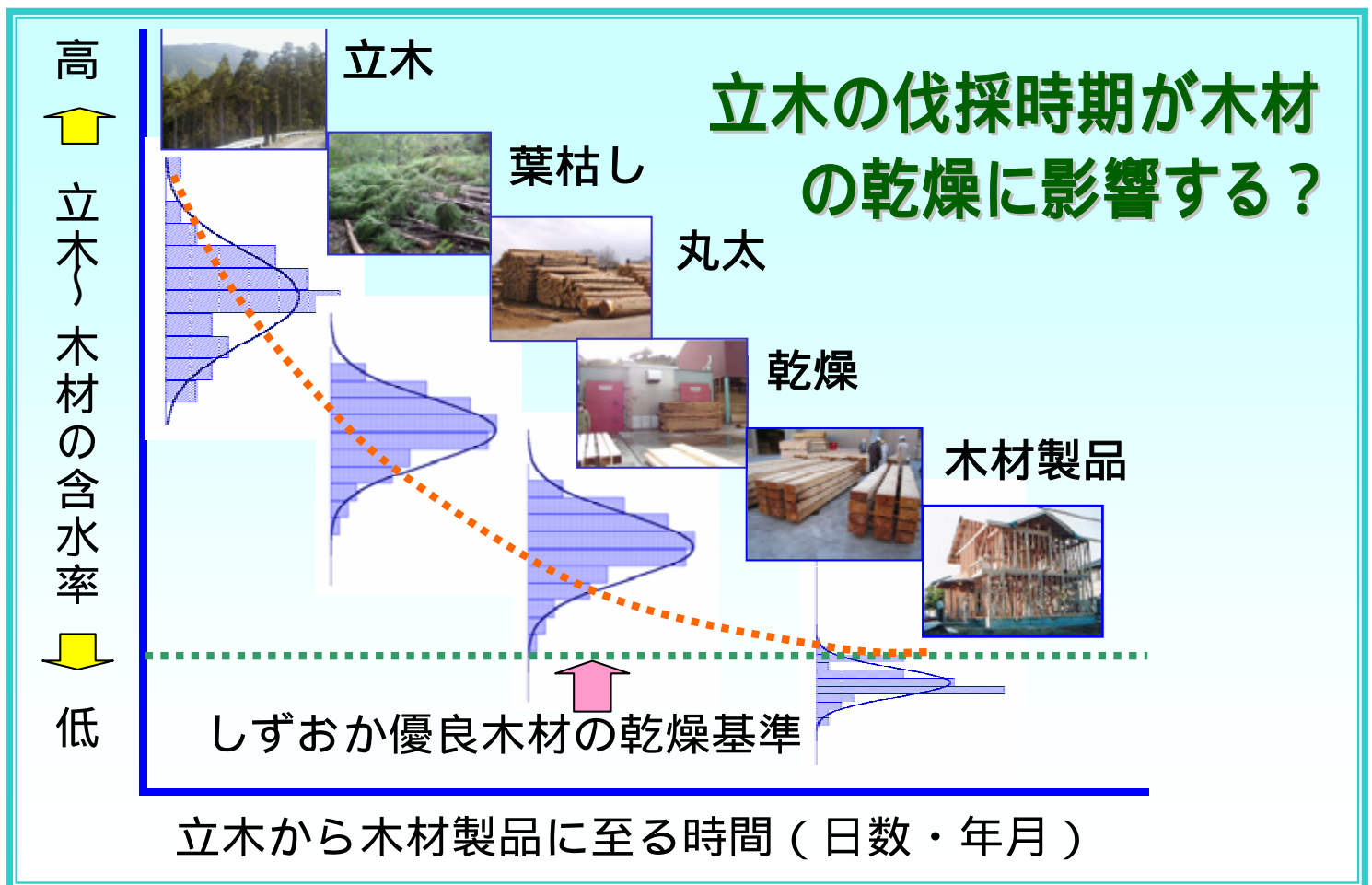




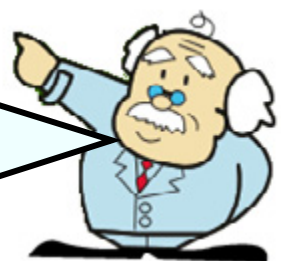
# 伐採時期によりスギ立木中の水分量は異なるのか？



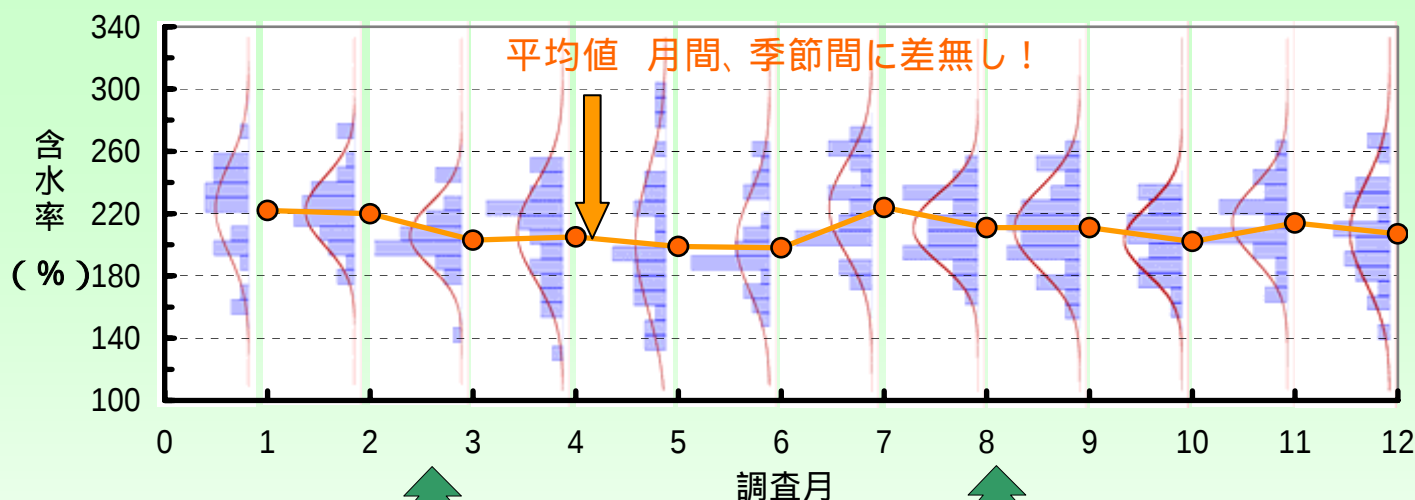
スギ等の立木は、春から夏の生長期には「水をあげている」と言われます。しかし、伐採の時期や季節が異なる場合、立木中に含まれる水分量（含水率）がどの程度違うのか、その違いが伐採後の製材品等の乾燥に影響するのか明らかになっていませんでした。

そこで、森林・林業研究センターでは、同一のスギ林分にて、年間を通して立木を伐採して調査を行いました。

裏面には、詳しい試験研究結果があります。



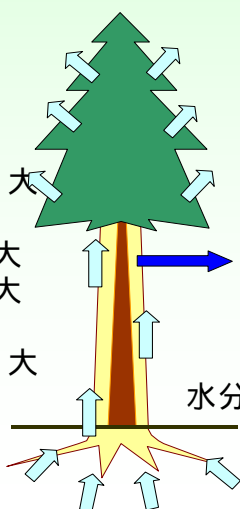
若齢期のスギ林分で立木を毎月30本伐採して含水率を調べました。  
また、同一月の満月と新月で伐採して含水率を調べました。



4月～9月  
光合成・生長量 大

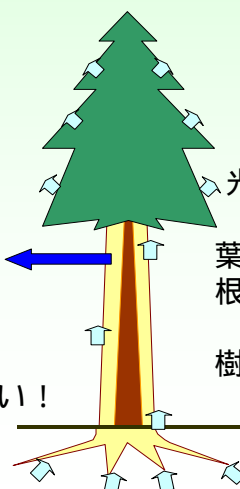
葉からの蒸散 大  
根の水分吸収 大

樹幹内水分移動 大



各月（季節）とも  
辺材の細胞には常に  
水がほぼ満タン状態！

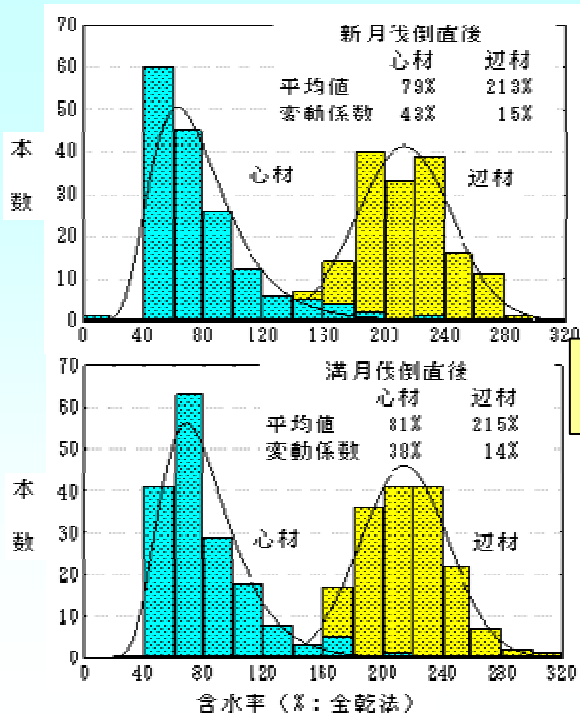
伐採丸太（木材）の  
水分量（含水率）差が無い！



10月～3月  
光合成・生長量 小

葉からの蒸散 小  
根の水分吸収 小

樹幹内水分移動 小



スギ立木の含水率は、月間、季節間で明確な変動が認められませんでした！

同一月の伐採日（満月、新月）が違っても、含水率に差が認められませんでした！

伐採時期は、製材の乾燥に影響を及ぼしません！

（5～7月は虫害が発生しやすいので注意が必要！）

発行日：平成22年3月1日

編集：静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター

発行：静岡県森林・林業研究センター振興協議会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6（静岡県森林組合連合会内）

発行元は解散しました。

TFI (054)253-0195

FAX (054)253-2328